上野会館だより

ひろば

人権を　みんなで知ろう　未来のために

No.５７９

２０２６年１１月

編集・発行

〒677-0044 西脇市上野 243 番地

西脇市立隣保館上野会館

TEL・FAX 0795－23－3451

2026第14回 上野･下戸田 いきいき人権交流祭

メインテーマ『人権を　みんなで知ろう　未来のために』
サブテーマは、地元の小学生が考えてくれた
「自分を笑顔に　みんなを笑顔に」
このサブテーマには、お互いを大切にできる優しい地域を広げていこう
という思いが込められています。
その思いを大切に 10 月 24 日（土）に交流祭を開催！

交流祭での発表や作品展示に向けて、各講座生が熱心に取り組んでいます!!





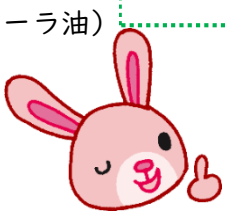


交流祭の様子は 12 月号でご紹介します。お楽しみに！

使用済み天ぷら油を回収します！

期間　11 月 12 日（木）～17 日（火）
場所　上野会館　（午前９時～午後５時）

【回収できる廃食用油】
○オリーブオイル ○菜種油(キャノーラ油)
○紅花油 ○コーン油 ○ひまわり油
○サラダ油 ○大豆油 ○ごま油



回収した天ぷら油は、バイオディーゼル燃料や石鹸の原料等にリサイクルします！
持ち込み方法は、油こし器で揚げカスなどを取り除いた後、ペットボトルに入れて持ち寄りください。

【回収できない油】
●動物性の油、固形の油（バター、ラードなど）
●食用以外の油（機械油、灯油、エンジンオイルなど）
●事業活動から出る廃食用油(飲食業、食品加工業など)

「だれもが自分らしく生きるために」～部落の歴史から学ぶ～

■どんな仕事をしていたの？



昔から、人々の暮らしを支えるために、さまざまな仕事がありました。

・　死んでしまった牛や馬の皮をはいで、太鼓や靴、鎧（よろい）などを作る仕事
・　町の中をきれいにする仕事
・　墓地の掃除や、亡くなった人を埋葬する仕事など

これらはどれも、みんなの生活を支える大切な仕事でした。

しかし、当時の社会には、「血や死」などを「けがれ」と考え避ける意識があり、
こうした仕事に従事する人々を避けるために、別の場所に住まわせたそうです。
これが被差別部落のはじまりです。

■身分による差別が生まれ、広がっていった



部落差別は、江戸時代の社会の仕組みの中で、身分による差別として、はっきりと形づくられていきました。
人々の身分や住む場所、仕事などが決められ、差別される人々は、社会の中で厳しい制限を受けることになるのです。

しかし、厳しい身分制度の中で暮らす人々は、ただ差別を受けていただけではありません。
それぞれの仕事を通して社会を支え、生活を営み、文化や技術も育んでいました。

■身分制度がなくなっても・・・



明治時代になると、身分制度は廃止されました。【明治４年 解放令（太政官布告）】
しかし、**制度が変わったからといって、人々の意識は、すぐに変わったわけではありませんでした。**
それまでの偏見や思い込みが残り、部落差別はその後も続きました。

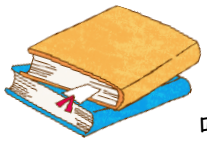
大正11年、差別されてきた人々自身が声を上げ、
「差別をなくし、誰もが人間らしく生きることのできる社会をつくろう」と、立ち上がりました。【大正11年 全国水平社】

■だれもが自分らしく生きるために



部落差別は、昔の話だけではありません。
今もインターネット上などで、偏見や差別につながる問題が起きています。

「なぜ差別が生まれたのか、なぜ差別は長く続くのか」を部落の歴史を学び、「知らない」ことから生まれる偏見をなくすことで、だれもが自分らしく生きられる社会に繋がっていくのではないでしょうか。



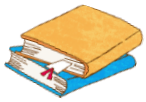
新しく図書を購入しました！



味覚・スポーツ・芸術、そして読書の秋～何をするにも好季節となりました。ぜひこの機会にお気に入りの本を見つけてください。

著書名	著　者	著書名	著　者
熟柿	佐藤　正午	叫び	畠山　丑雄
暁星	湊　かなえ	時の家	鳥山　まこと
ひまわり	新川　帆立	踊り疲れて	塩田　武士
老いの才覚	曽野　綾子	一次元の挿し木	松下　龍之介
きょうの枕草子	最果　タヒ	ありがとうの奇跡	小林　正観
カフェの帰り道	嶋津　輝	大河の一滴 最終章	五木　寛之
エピクロスの処方箋	夏川　草介	死んで初めてわかること	サトミ
イン・ザ・メガチャーチ	朝井　リョウ	世界でいちばん透きとおった物語	杉井　光
毛糸玉2026夏号vol.210	日本ヴォーグ社編集部	私の花生活 2026summer No..122	日本ヴォーグ社編集部
新版学校では教えてくれない差別と排除の話	安田　浩一	脳トレ・介護予防に役立つまちがいさがし昭和の暮らし・行事編	篠原　菊紀/監修
小学校入学前に知っておきたい93のルール『毎日が楽しくなるおやくそくできるかな？』	ハ・ユジョン	かもめ食堂 野菜が美味しい季節のおそうざい：旬の素材を使い切る懐かしいのに初めての味	船橋　里律子

☆職員のおすすめ！！



いちオシ！

「ありがとうの奇跡（きせき）」
著者　小林（こばやし）　正観（せいかん）

「ありがとう」の言葉が、毎日をちょっと幸せにしてくれる。
人間関係や人生について、心が軽くなるヒントが詰まった一冊です。

学校では教えてくれない
「差別（さべつ）と排除（はいじょ）の話（はなし）」
著者　安田（やすだ）　浩一（こういち）

「差別はいけない」誰もがそう思っているのに…。著者自身の体験や、取材を通して、差別が生まれる背景を考えます。
「自分とは関係ない話」そう思っている人にこそ、読んでほしい一冊です。

『第２回　教養講座生等人権学習会』を行います



と　き　11月19日（木）
ところ　上野会館　大ホール（２階）
内　容　人権啓発ビデオ「窓の向こうへ」～わたしも　あなたも大切なんだ～

※　講座生以外の方も自由にご参加ください。

11月の行事予定

おりひめ体操は屋外でしているよ！
気軽に参加してね♪

日	月	火	水	木	金	土
1 ★グラウンドゴルフ大会 さわやか交流祭（大野緑地）	2 編物（サークル）	3 文化の日	4 かな書道 編物A	5 輪の会	6	7 茶道A ヨッピ会
8	9 文芸 生花	10 茶道B 料理 押し花	11 編物B スイートピー	12 3B体操	13	14 ヨッピ会
15	16	17 茶道B	18 かな書道 編物（サークル）	19 教養講座生等 人権学習会	20 絵手紙	21 茶道A ヨッピ会
22	23 勤労感謝の日	24	25	26 3B体操 編物（サークル）	27 趣味の会	28 ヨッピ会 押し花（サークル）
29	30 生花	12/1 茶道B	2 かな書道 編物A	3 輪の会	4	5 茶道A ヨッピ会

相談　**（人権・福祉・教育・健康・年金など）**
上野会館では、毎週月曜日に相談日を設けています。電話による相談も受け付けています。プライバシーを厳守しますので、お気軽にご相談ください。

図書　人権、一般、趣味、児童書等の閲覧・貸出をおこなっています。
お気軽にご利用ください。



編集後記

◈朝夕はずいぶん涼しくなり、秋の深まりを感じる季節になりました。木々の葉も少しずつ色づき、秋らしい景色が楽しめます。

◈関西では、阪神タイガースがリーグ連覇！阪神ファンの皆さんにとっては、うれしい秋になったことでしょう。ちなみに「私の推しは阪神ではありませんが（笑）」、優勝のニュースにはやはり「おめでとう！」と言いたくなります。

◈10月24日の交流際の様子は、12月号でお伝えする予定です。どうぞ楽しみにお待ちください。

◈11月には人権学習会も予定しています。身近な人との関わりや、日々の暮らしの中にある人権について、一緒に考えてみませんか。ぜひ気軽にご参加ください。

◈これから少しずつ寒くなります。体調に気をつけながら秋のひと時を楽しんでください。（I）